

図25

(2013年)

HIV以外の性感染症検査を行っているか

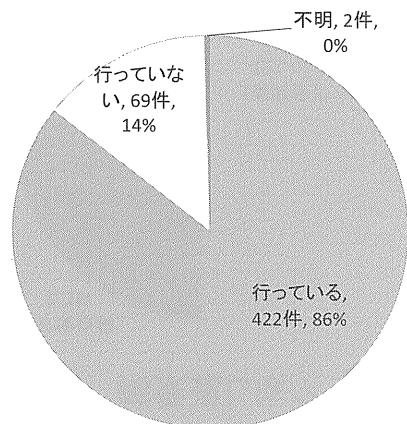


図26

(2013年)

HIV以外の性感染症検査を行っているか

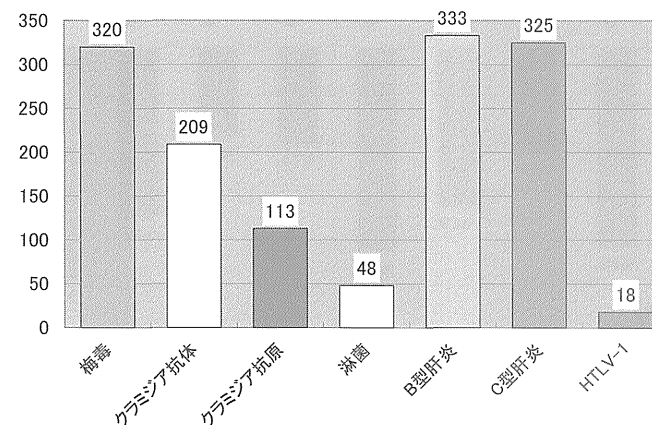


図27

(2013年)

確認検査で陽性の場合届出を行うか (全保健所)

(493件中)

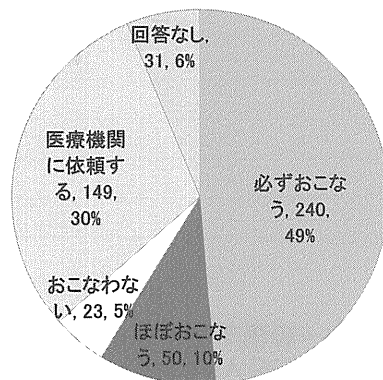
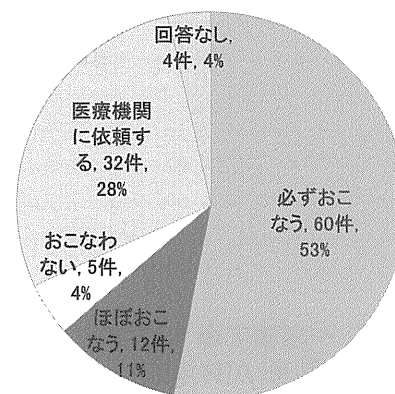


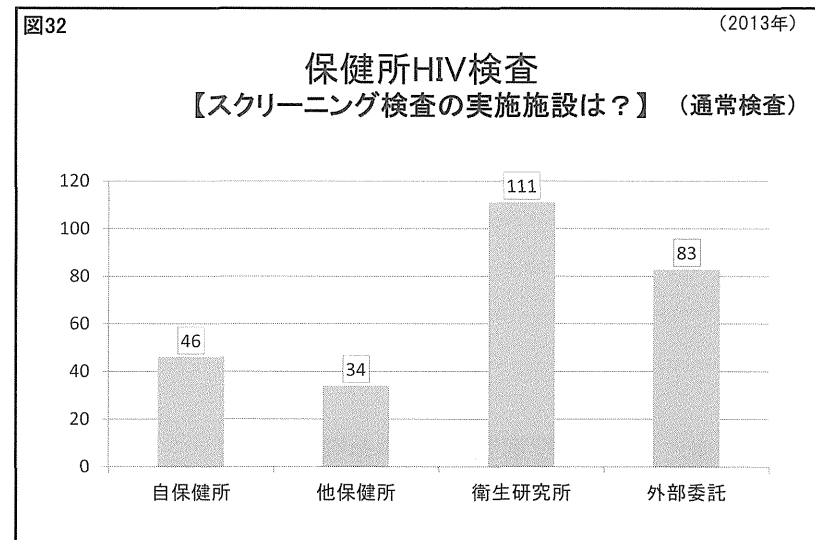
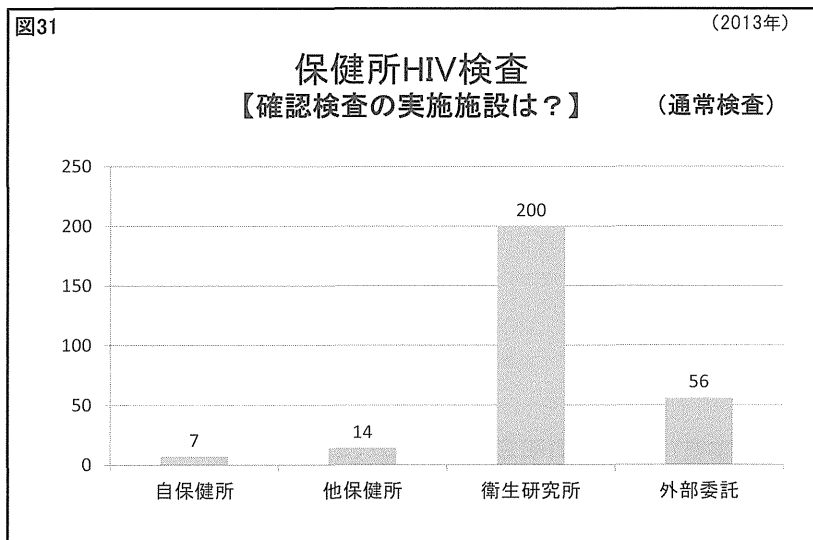
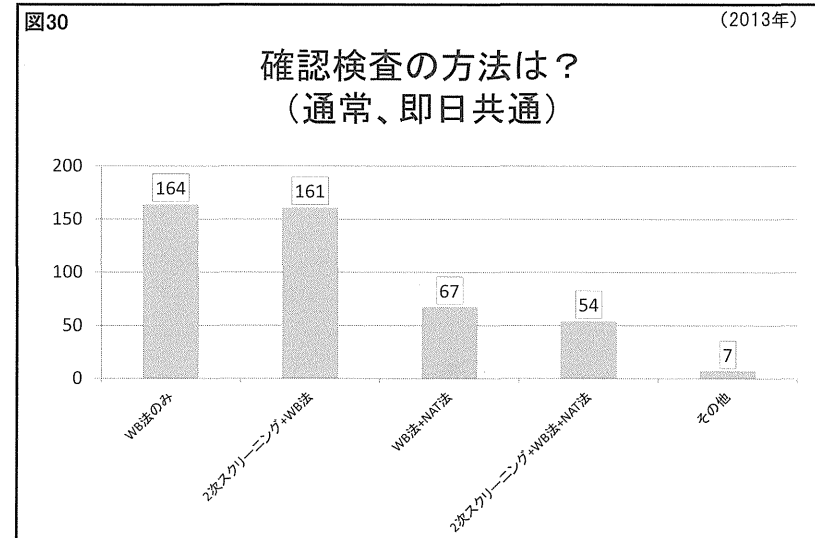
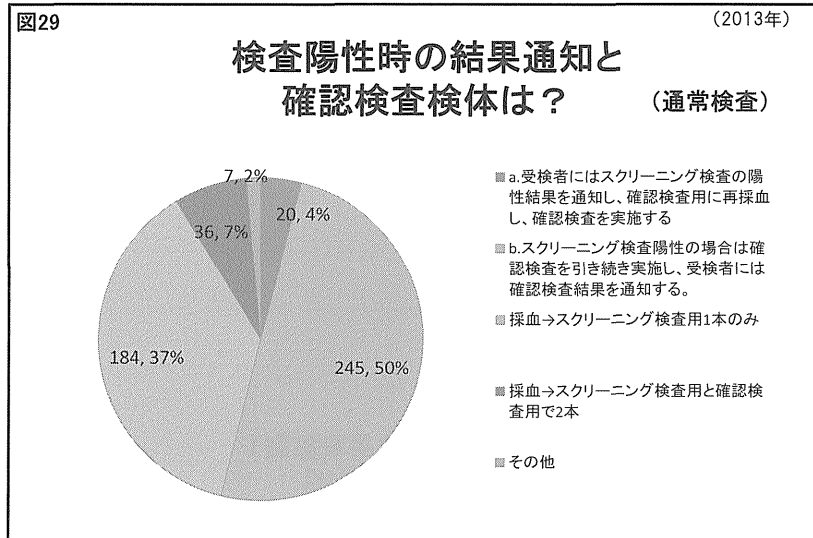
図28

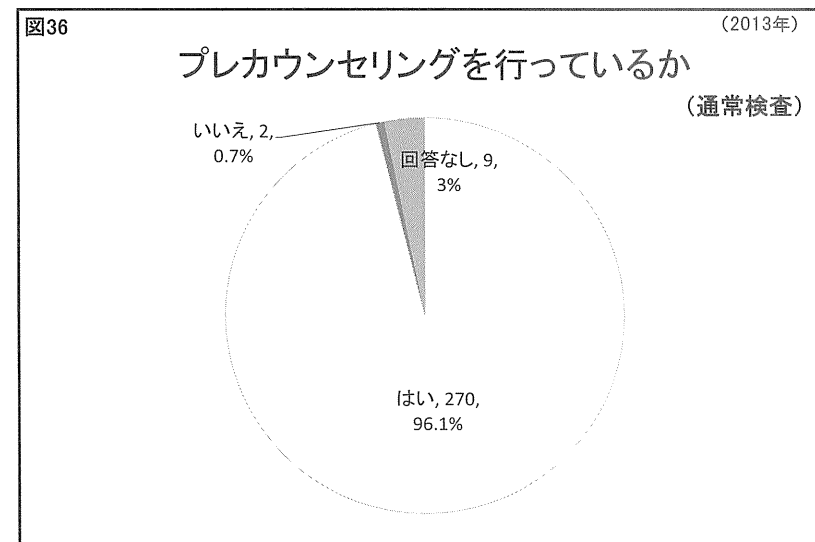
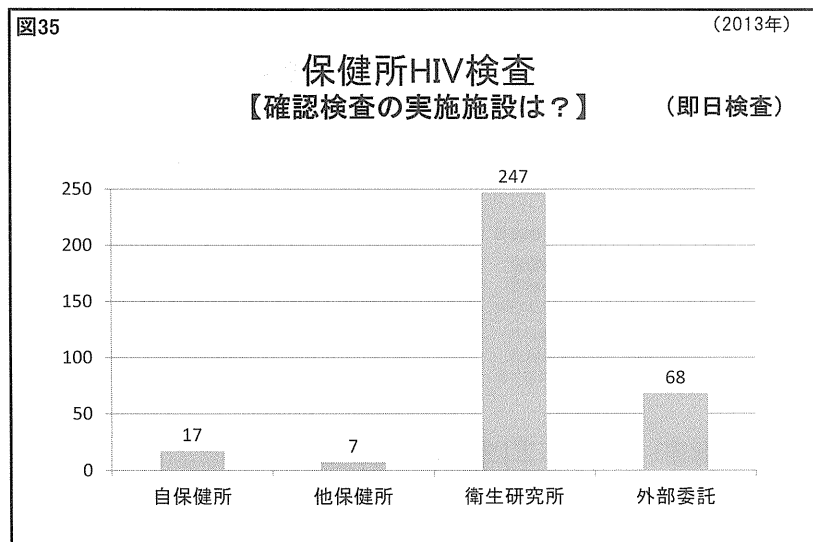
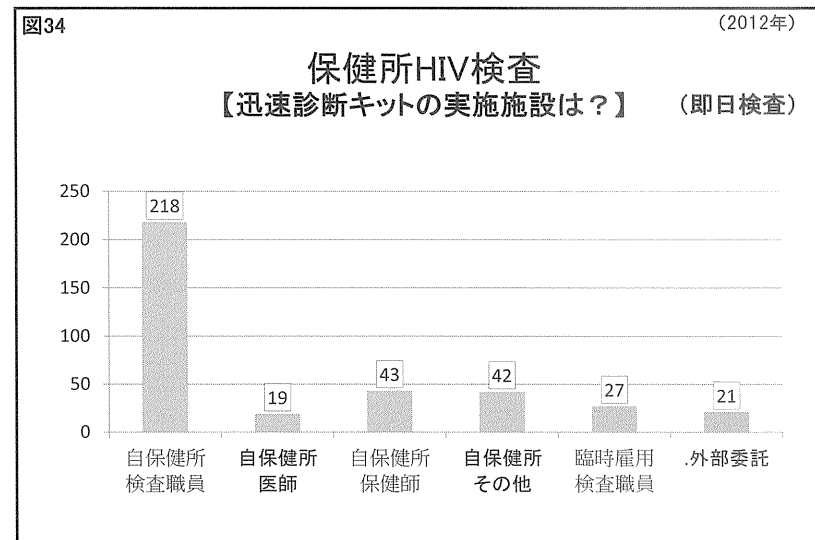
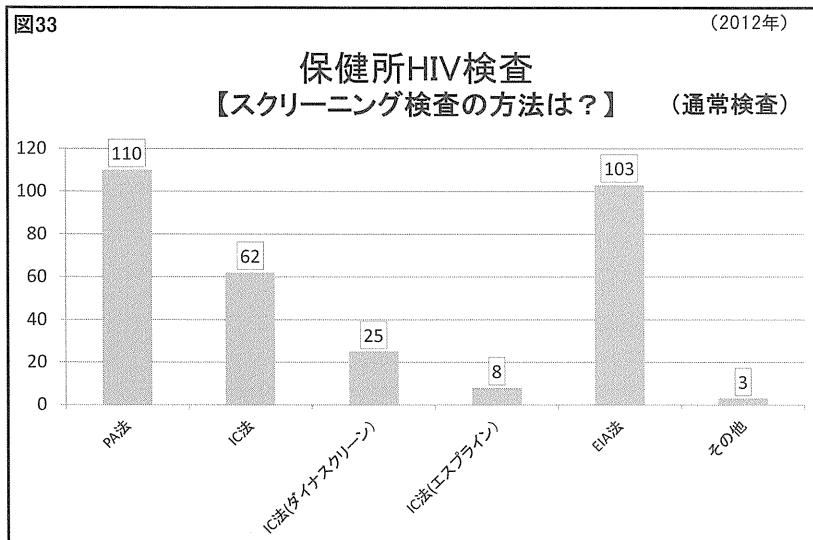
(2013年)

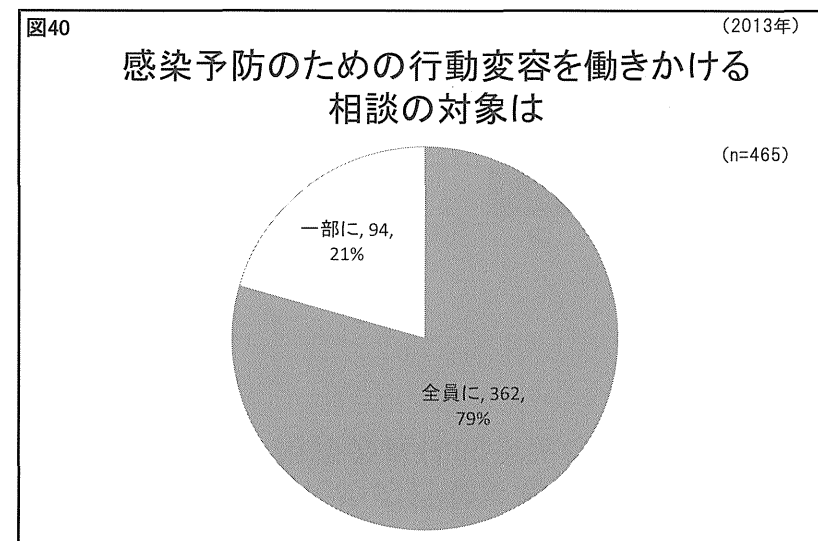
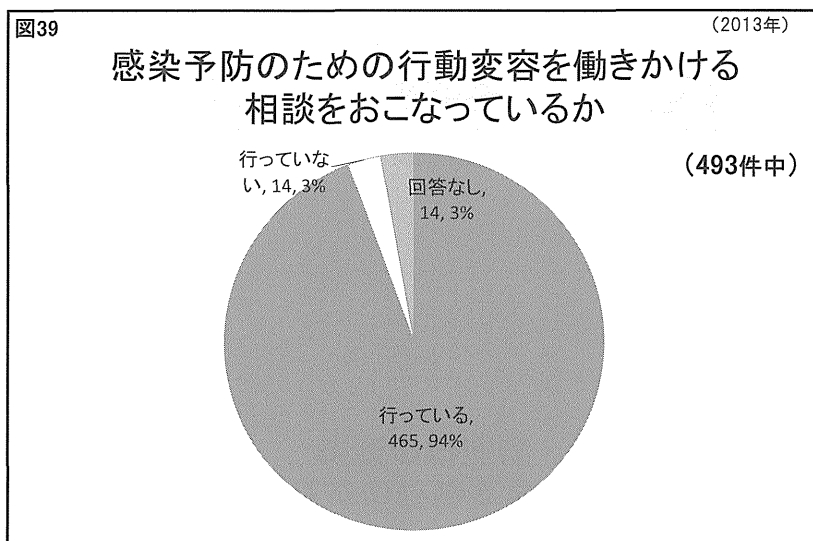
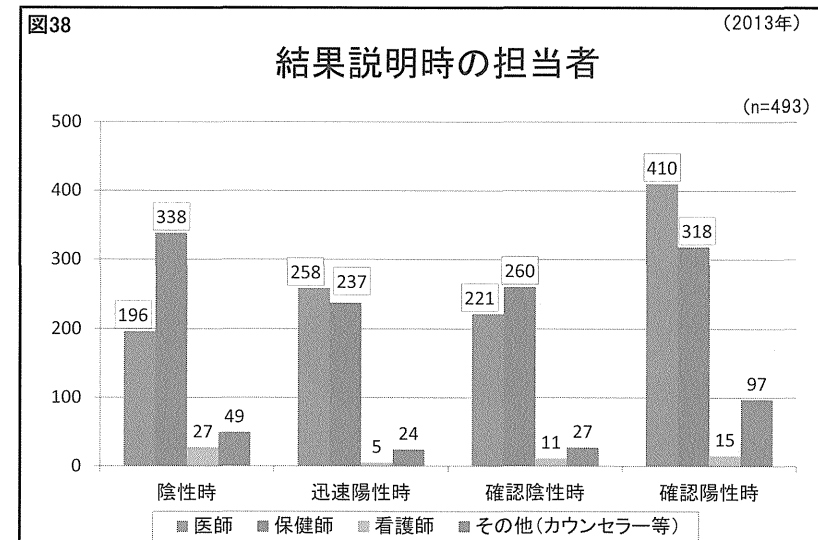
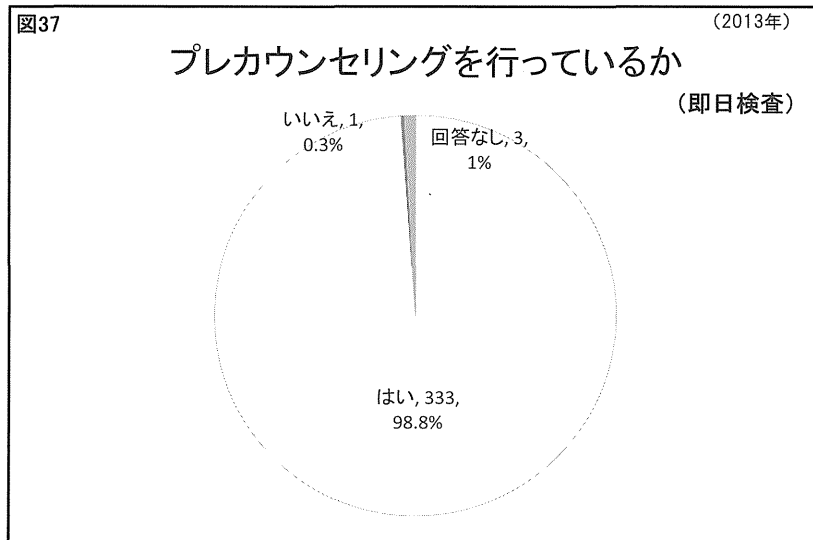
確認検査で陽性の場合届出を行うか (陽性経験数)

(n=113)









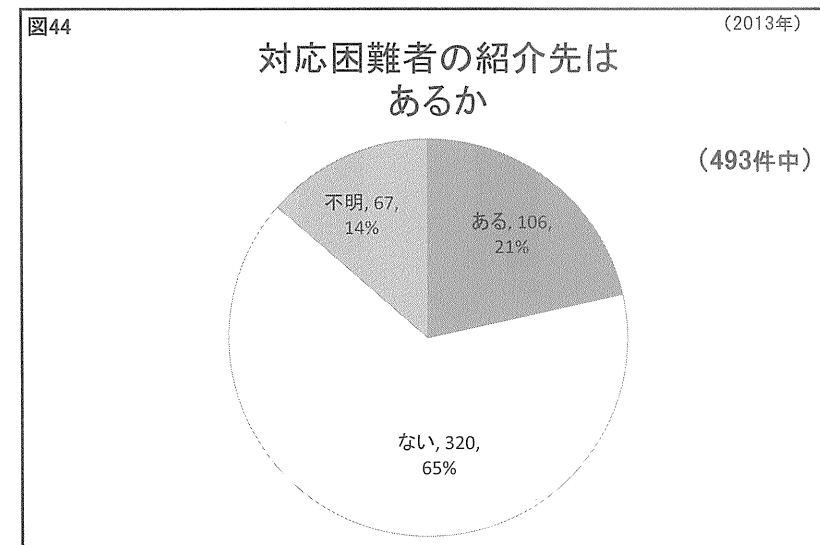
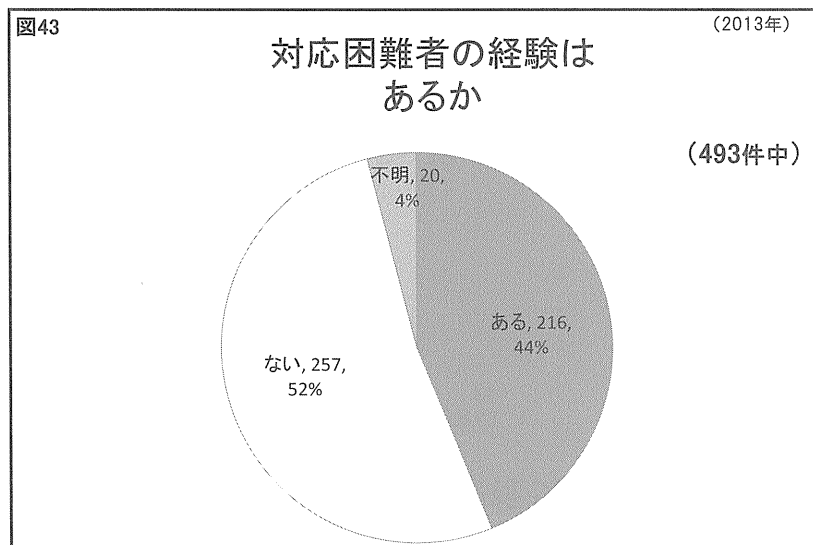
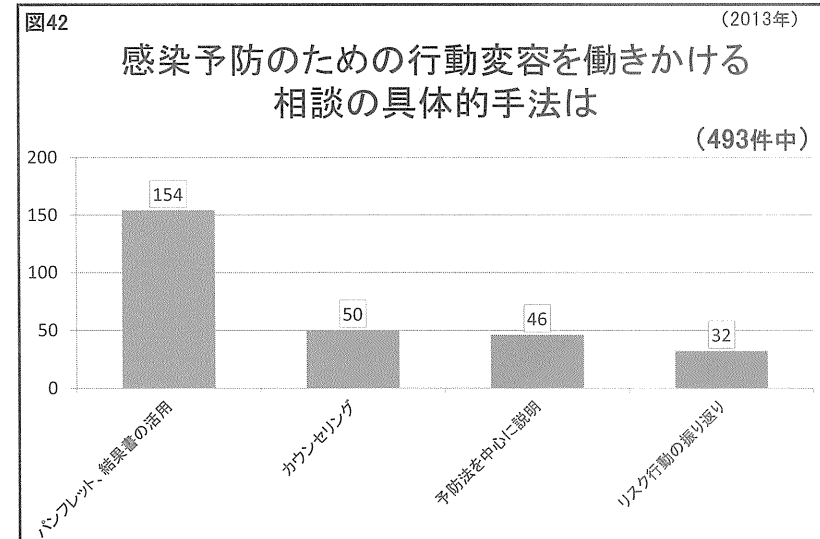
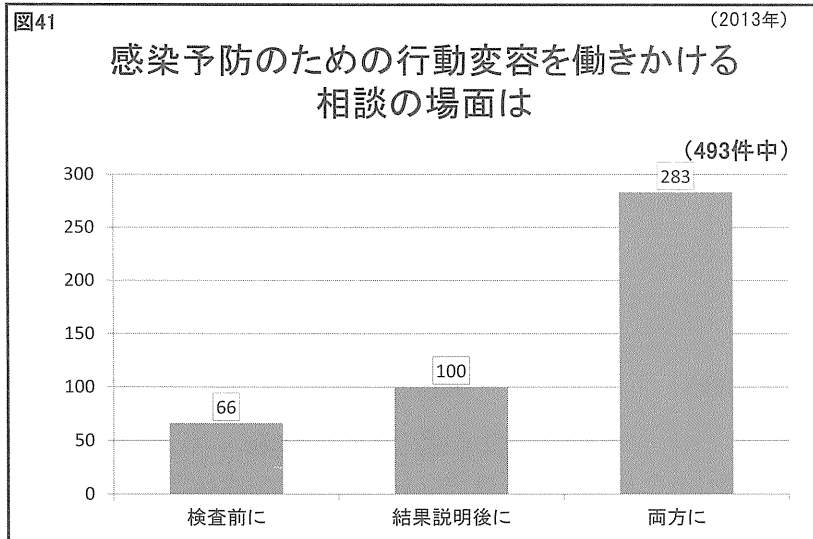


図45

(2013年)

対応困難者の紹介先は どこか

(n=106)

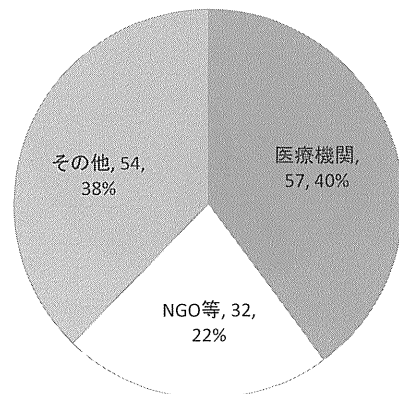


図46

(2013年)

陽性者への説明事項 マニュアルはあるか

(493件中)

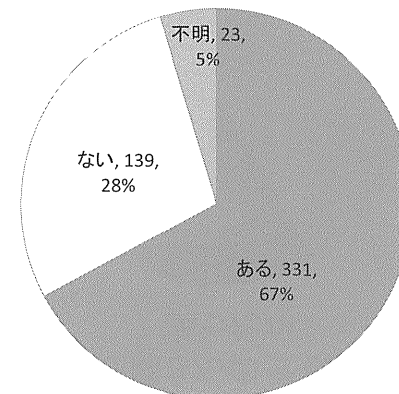


図47

(2013年)

陽性者への説明事項 説明資料はあるか

(493件中)

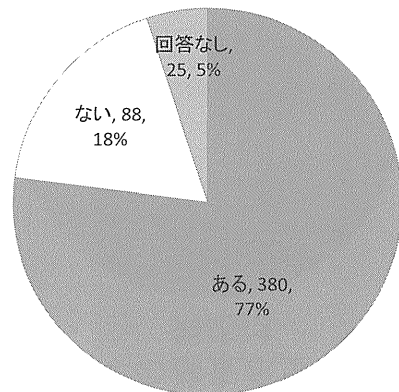


図48

(2013年)

陽性者への手渡し資料は あるか

(493件中)

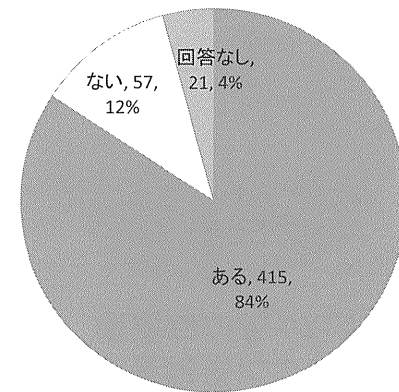


図49

(2013年)

未成年の検査希望者への 対応は

(493件中)

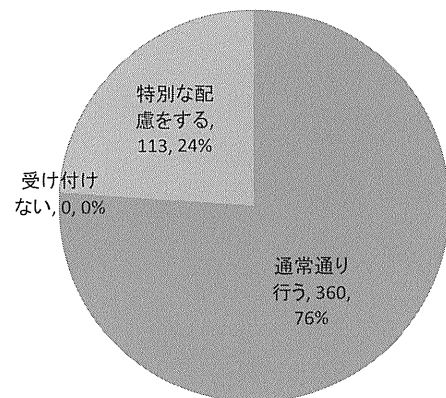


図50

(2013年)

検査結果について 誤通知があったか

(493件中)

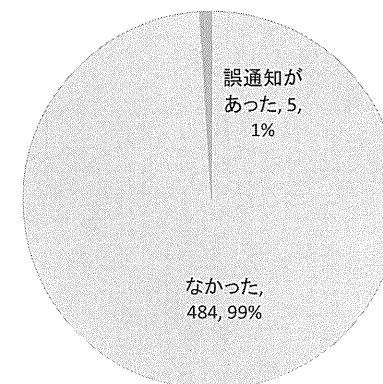


図51

(2013年)

妊婦さんの相談事例が あったか

(493件中)

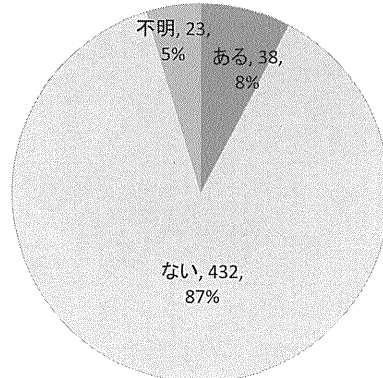
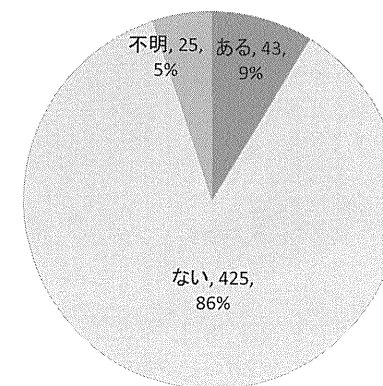


図52

(2013年)

妊婦さんの受検が あったか

(493件中)



1. 貴保健所ではHIV検査相談を行っていますか？ 493 アンケート送付数 579
回収数 493 85.1%

はい	493件	100.0%

「はい」と答えた保健所 → 平成25年1～12月の実施状況をお教え下さい (n=493)

① HIV検査件数	検査数	93,408人
	うち陽性数	240人
	陽性率	0.26%

陽性経験数	陽性者があった保健所	113件	22.9%
	陽性者がなかった保健所	380件	77.1%
	回答なし		

年間検査件数別保健所数

年間検査数	保健所数		検査件数		陽性数	陽性率	陽性経験率	陽性経験数
50件未満	177	35.9%	3,977	4.3%	4	0.10%	2.3%	4
50～99件	91	18.5%	6,492	7.0%	11	0.17%	12.1%	11
100～199件	98	19.9%	14,172	15.2%	25	0.18%	20.4%	20
200～499件	84	17.0%	25,617	27.4%	62	0.24%	47.6%	40
500～999件	31	6.3%	22,370	23.9%	65	0.29%	87.1%	27
1000件以上	12	2.4%	20,780	22.2%	73	0.28%	91.7%	11
回答なし		0.0%						

② HIV検査結果を聞きにこなかった受検者数： 1,820人 (1.95%)

③ HIV検査での結果確認（陰性者、陽性者別）：

	陰性	陽性
結果を聞きにきた	91,364人 98.1%	224人 93.3%
結果を聞きにこなかった	1,804人 1.9%	16人 6.7%

④ 陽性者が医療機関を受診したかどうか分かる仕組みがありますか？

	全体	陽性経験保健所	(n=113)
ある	268 54.4%	75件 66.4%	
ない	215 43.6%	33件 29.2%	

⑤ 医療機関を受診したことを把握できている陽性者数： 185人 (77.1%)

⑥ 発生動向調査の報告を行ったHIV感染者数 146人 (60.8%)

2. 貴保健所で行っているHIV検査相談事業の内容について教えてください。

① HIV検査と同時にHIV以外の性感染症検査を行っていますか？

行っている	422件	85.6%
行っていない	69件	14.0%
不明	2件	0.4%

「行っている」と答えた保健所 → 実施している性感染症検査項目に丸をしてください (n=422)

梅毒	320	75.8%
クラミジア抗体	209	49.5%
クラミジア抗原	113	26.8%
淋菌	48	11.4%
B型肝炎	333	78.9%
C型肝炎	325	77.0%
HTLV-1	18	4.3%

② 定期的に行っているHIV検査の実施曜日と実施時間をご記入下さい。(n=493)

1	通常検査のみ	156	31.6%
2	即日検査のみ	212	43.0%
3	通常+即日	125	25.4%
A	平日昼のみ検査	248	50.3%
B	平日夜間検査	182	36.9%
C	土日検査	63	12.8%
1A	通常のみ+平日昼のみ	116	23.5%
1B	通常のみ+夜間も行っている	35	7.1%
1C	通常+土日検査も	5	1.0%
2A	即日のみ+平日昼のみ	102	20.7%
2B	即日のみ+夜間も行っている	84	17.0%
2C	即日+土日検査も	26	5.3%
3A	通常+即日・平日昼のみ	30	6.1%
3B	通常+即日・夜間も行っている	63	12.8%
3C	通常+即日・土日検査も	32	6.5%
		493	

② ア通常検査の場合 (n=281)

A. 予約制ですか？

はい	162	57.7%
いいえ	115	40.9%

B. 1回あたり上限はありますか？ (n=281)

はい	105	37.4%
いいえ	170	60.5%
回答なし	6	2.1%

上限がある場合、平均人数と分布

	通常	即日
平均数		
10人未満	62件	148件
10-19人	20件	51件
20-29人	12件	18件
30-39人	5件	11件
40-49人	2件	6件
50人以上	2件	10件

C. プレカウンセリングを行っているか？

はい	270	96.1%
いいえ	2	0.7%
回答なし	9	3.2%

D. 結果返しは？

1週間後まで	183	65.1%
1週から2週間後まで	92	32.7%
15日後以降	2	0.7%

E.スクリーニング検査 実施施設は？

自保健所	46	16.4%
他保健所	34	12.1%
衛生研究所	111	39.5%
外部委託	83	29.5%

F.スクリーニング検査の方法は？

PA法	110	39.1%
IC法	62	22.1%
IC法(ダイナスクリーン)	25	8.9%
IC法(エスプライン)	8	2.8%
EIA法	103	36.7%
その他	3	1.1%

G.確認検査の実施施設は？

自保健所	7	2.5%
他保健所	14	5.0%
衛生研究所	200	71.2%
外部委託	56	19.9%

H.検査陽性時の結果通知と確認検査検体は？

a.受検者にはスクリーニング検査の陽性結果を通知し、確認検査用に再採血し、確認検査を実施する	20	7.1%
b.スクリーニング検査陽性の場合は確認検査を引き続き実施し、受検者には確認検査結果を通知する。	245	87.2%
検査方法がスクリーニング検査のみ	184	
→スクリーニング検査用と確認検査用で2本	36	
その他	7	2.5%

② イ即日検査の場合 (n=337)

A.予約制ですか？

はい	272	80.7%
いいえ	63	18.7%

B. 1回あたり上限はありますか？

はい	246	73.0%
いいえ	89	26.4%

上限がある場合、平均人数と分布

平均数	
10人未満	148件
10-19人	51件
20-29人	18件
30-39人	11件
40-49人	6件
50人以上	10件

C.プレカウンセリングを行っているか？

はい	333	98.8%
いいえ	1	0.3%
回答なし	3	0.9%

D.迅速検査で陽性(要確認検査)となった場合の結果返しは？

1週間後	188	55.8%
2週間後	111	32.9%
その他	24	7.1%
回答なし	14	4.2%

E.迅速診断キットの検査実施は？

a.自保健所 検査職員	218	64.7%
a.自保健所 医師	19	5.6%
a.自保健所 保健師	43	12.8%
a.自保健所 その他	42	12.5%
b.臨時雇用 検査職員	27	0.0%
b.臨時雇用 医師	0	0.3%
b.臨時雇用 保健師	1	2.1%
b.臨時雇用 その他	7	6.2%
c.外部委託	21	0.0%

F.確認検査 実施施設は？

自保健所	17	5.0%
他保健所	7	2.1%
衛生研究所	247	73.3%
外部委託	68	20.2%

G.確認検査用 検体は？

迅速検査残血液	229	68.0%
確認検査用再採血	100	29.7%
迅速検査用と同時	60	
結果通知後	43	

③ 確認検査の方法は？（通常、即日共通）

(n=493)

WB法のみ	164	33.3%
2次スクリーニング+WB法	161	32.7%
WB法+NAT法	67	13.6%
2次スクリーニング+WB法+NAT法	54	11.0%
その他	7	1.4%

④ 受検者について把握している内容は？

(n=493)

性別	480	97.4%
年齢	353	71.6%
年代	189	38.3%
居住地域	200	40.6%
受検動機	421	85.4%
感染リスク	330	66.9%
性的志向	220	44.6%
感染機会の時期	413	83.8%
情報源	300	60.9%
その他	77	15.6%

上記の内容について事業改善等に活用していますか。

(n=493)

活用している	289	58.6%
活用していない	145	29.4%

⑤ 結果説明等について

A. 結果説明時の担当者

	陰性時		迅速陽性時		確認陰性		確認陽性時	
記入数	474		305		358		424	
医師	196	41.4%	258	84.6%	221	61.7%	410	96.7%
保健師	338	71.3%	237	77.7%	260	72.6%	318	75.0%
看護師	27	5.7%	5	1.6%	11	3.1%	15	3.5%
その他(カウンセラー等)	49	10.3%	24	7.9%	27	7.5%	97	22.9%

迅速検査陽性時、手渡し資料がありますか？

ある	254件	51.5%
ない	44件	8.9%
無回答	195件	39.6%

B.陽性者への説明事項のマニュアルがありますか？

ある	331件	67.1%
ない	139件	28.2%
不明	23件	4.7%

C.陽性者への説明資料はありますか？

	全体		陽性経験保健所(n=113)	
ある	380件	77.1%	81件	71.7%
ない	88件	17.8%	24件	21.2%
回答なし	25件	5.1%	8件	7.1%

D.陽性者への手渡し資料はありますか？

	全体		陽性経験保健所(n=113)	
ある	415件	84.2%	99	87.6%
ない	57件	11.6%	8	7.1%
回答なし	21件	4.3%	6件	5.3%

E.確認検査で陽性の場合には届出をおこなっていますか？

	全体		陽性経験保健所(n=113)	
必ずおこなう	240件	48.7%	60件	53.1%
ほぼおこなう	50件	10.1%	12件	10.6%
おこなわない	23件	4.7%	5件	4.4%
医療機関に依頼する	149件	30.2%	32件	28.3%
回答なし	31件	6.3%	4件	3.5%

F.感染予防のための行動変容を働きかける相談をおこなっていますか？ (n=493)

行っている	465	94.3%
行っていない	14	2.8%
回答なし	14	4.2%

対象は？

(n=465)

全員に	362	77.8%
一部に	94	20.2%

場面は？

検査前に	66	14.2%
結果説明後に	100	21.5%
両方に	283	60.9%

具体的手法は？

パンフレット、結果説明書を活用	154	33.1%
カウンセリング	50	10.8%
予防法を中心に説明	46	9.9%
リスク行動の振り返り	32	6.9%

G. 対応困難者の経験はありますか？

ある	216件	43.8%
ない	257件	52.1%
不明	20件	4.1%

対応困難者の紹介先はありますか？

(n=493)

ある	106件	21.5%
ない	320件	64.9%
不明	67件	13.6%

「ある」と答えた保健所→紹介先は？(複数回答あり)

(n=106)

医療機関	57件	53.8%
NGO等	32件	30.2%
その他	54件	50.9%

H. 昨年1年間に妊婦さんの相談事例はありましたか？

(n=493)

ある	38件	7.7%
→1件	27件	
→2～4件	5件	
→件数不明	6件	
ない	432件	87.6%
不明	23件	4.7%

I. 昨年1年間に妊婦さんの検査受検はありましたか？

ある	43件	8.7%
→1件	32件	
→2～4件	6件	
→件数不明	5件	
ない	425件	86.2%
不明	25件	5.1%

J. 未成年の検査希望者への対応はどのようにしていますか？

(n=493)

通常通り行う	360件	73.0%
受け付けない	1件	0.0%
特別な配慮をする	113件	22.9%
→陽性時には親にも説明	38件	33.6%
→保護者の同意を得られているか	22件	
→保護者同伴	19件	16.8%

⑥ HIV検査結果の連絡・受け渡しについて (n=493)

昨年1月以降にHIV/性感染症検査(無料・匿名)に関して
誤った結果を通知したことはありますか？

なかった	484	98.2%
HIVについてあった	1	0.2%
STIIについてあった	4	0.8%

保健所における HIV 検査・相談体制に関する調査

* アンケートの集計結果は毎年、研究班の報告書としてまとめ報告するとともに、学会・学会誌等に発表します。原則として発表データは集計結果のみを使用し、個別の保健所が分かる形では、特別に許可を得た場合を除き公表することはありません。

保健所名: _____ 所属: _____
連絡担当者名: _____ 職種: 医師・保健師・事務・その他()
連絡先: TEL _____ FAX _____ E-mail _____

1. 貴保健所では HIV 検査相談を行っていますか? (はい ・ いいえ)

「はい」と答えた保健所 → 平成 25 年 1~12 月の実施状況をお教え下さい。

- ① HIV 検査件数: 検査数 _____ 件 スクリーニング検査で陽性 _____ 件 確認検査陽性 _____ 件
② HIV 検査の結果を聞きにこなかった受検者数: _____ 件
③ ②の中で、HIV 検査が陽性で結果を聞きにこなかった数: _____ 件
④ 陽性者が医療機関を受診したかどうか分かる仕組みがありますか? (ある ・ ない)
「ある」と答えた保健所 → 具体的に教えて下さい()
⑤ 医療機関を受診したことを把握できている陽性者数: _____ 件
⑥ 確認検査陽性で、保健所が感染症発生動向調査の届出を行った HIV 感染者数 _____ 件

2. 貴保健所で行っている HIV 検査相談事業の内容について教えて下さい。

- ① HIV 検査相談を行っている曜日と時間をご記入下さい。
(例) (通常(即日)(定期)イベント) 検査: (火 曜日・(月) 年) 4 回 受付時間: 13 : 00 ~ 15 : 00
(通常・即日)(定期・イベント) 検査: _____ 曜日/(月・年) _____ 回 受付時間: _____ : _____ ~ _____ : _____
(通常・即日)(定期・イベント) 検査: _____ 曜日/(月・年) _____ 回 受付時間: _____ : _____ ~ _____ : _____
(通常・即日)(定期・イベント) 検査: _____ 曜日/(月・年) _____ 回 受付時間: _____ : _____ ~ _____ : _____
② HIV 検査事業の中で HIV 検査と一緒に HIV 以外の性感染症検査を行っていますか?
(行っていない ・ 行っている → (毎回 ・ イベント (年 回))
「行っている」と答えた保健所 → 一緒に実施している性感染症検査項目に○をしてください。
(梅毒 ・ クラミジア抗体 ・ クラミジア抗原 ・ 淋菌 ・ B 型肝炎 ・ C 型肝炎 ・ その他 _____)

ア. 通常検査を行っている場合

- A. 予約制ですか? (はい ・ いいえ)
B. 1 回あたり上限数がありますか? (はい → () 人 ・ いいえ)
C. 検査前に説明や相談(プレカウンセリング)を行っていますか? (はい ・ いいえ)
D. 結果返しは? (1 週間後 ・ 2 週間後 ・ _____ 日後以降)
E. スクリーニング検査実施施設は?
(自保健所 ・ 他保健所 ・ 衛生研究所 ・ 外部委託 (機関名: _____))
F. スクリーニング検査の方法は?
(PA 法 ・ IC 法 (ダイナスクリーン、エスプライン) ・ EIA 法) ・ その他(_____))
G. 確認検査の実施施設は?
(自保健所 ・ 他保健所 ・ 衛生研究所 ・ 外部委託 (機関名: _____))
H. 検査陽性時の結果通知と確認検査検体について当てはまるものに○を付けてください。
a. 受検者にはスクリーニング検査の陽性結果を通知し、確認検査用に再採血し、確認検査を実施する。
b. スクリーニング検査陽性の場合は確認検査を引き続き実施し、受検者には確認検査結果を通知する。
(採血は? → スクリーニング検査用 1 本のみ ・ スクリーニング検査用と確認検査用で 2 本)
c. その他(_____)

イ. 即日検査を行っている場合

- A. 予約制ですか? (はい ・ いいえ)
B. 1 回あたり上限数がありますか? (はい () 人 ・ いいえ)
C. 検査前に説明や相談(プレカウンセリング)を行っていますか? (はい ・ いいえ)

→ 裏面へつづく

- D. 迅速検査で陽性となった場合の確認検査の結果返しは？（ 1 週間後 ・ 2 週間後 ・ ____ 日後以降 ）
- E. 迅速診断キットの検査実施は？
- a. 自保健所職員（ 検査担当職員 ・ 医師 ・ 保健師 ・ その他 _____ ）
- b. 臨時雇用（ 検査担当職員 ・ 医師 ・ 保健師 ・ その他 _____ ）
- c. 外部委託（機関名 _____ ）
- F. 確認検査の実施施設は？
- （ 自保健所 ・ 他保健所 ・ 衛生研究所 ・ 外部委託（機関名： _____ ） ）
- G. 確認検査用の検体は？
- （ 迅速検査の残血液 ・ 確認検査用に採血 →（ 迅速検査用と同時 ・ 結果通知後 ） ）
- ③ 確認検査の方法を教えてください（ア. 通常検査を行っている場合、イ. 即日検査を行っている場合共通）。
- （ WB 法のみ ・ 2 次スクリーニング検査+WB 法 ・ WB 法+NAT 法
・ 2 次スクリーニング検査+WB 法+NAT 法 ・ その他（ _____ ） ）
- ④ 受検者について把握している内容に○を付けて下さい（複数回答可）。
- （ 性別 ・ 年齢 ・ 年代 ・ 居住地域 ・ 受検の動機 ・ 感染リスク ・ 性的指向
・ 感染機会の時期 ・ 今回の検査の情報源 ・ その他（ _____ ） ）
- 集計結果を事業の改善見直しや予算要求等に活用していますか？（ している ・ していない ）
- ⑤ 結果説明・相談等について教えてください。H24 年 4 月に体制等が変わった場合は変更後をご記入下さい。
- A. 結果説明時の 1 事業実施回当たりの担当者は？
- * 該当箇所の□にレ点を付け、合計人数を記入、担当職種に○を付け、職種別の人数をご記入下さい。
- 「陰性結果通知」→（ 人：医師（人）・保健師（人）・看護師（人）・その他（ _____ （人） ）
- 「迅速検査陽性通知」→（ 人：医師（人）・保健師（人）・看護師（人）・その他（ _____ （人） ）
- 「確認検査陰性通知」→（ 人：医師（人）・保健師（人）・看護師（人）・その他（ _____ （人） ）
- 「確認検査陽性通知」→（ 人：医師（人）・保健師（人）・看護師（人）・その他（ _____ （人） ）
- 「迅速検査陽性」時の説明体制（例：、医師が結果を説明し、保健師が相談先などを説明）
- 具体的には？（ _____ ）、手渡し資料は？（ ある ・ ない ）
- 「確認検査陽性」時の説明体制（例：医師が結果と医学的説明、保健師が他の説明、臨床心理士が相談）
- 具体的には？（ _____ ）
- B. 陽性者への説明事項に関するマニュアルがありますか？（ ある ・ ない ）
- C. 陽性者への説明資料はありますか？（ ある（具体的に： _____ ） ・ ない ）
- D. 陽性者に手渡し資料はありますか？（ ある（具体的に： _____ ） ・ ない ）
- E. 確認検査で陽性の場合には感染症発生動向調査の届出を行いますか？
- （ 必ず行う ・ ほぼ行う ・ 行わない ・ 紹介先医療機関に依頼する _____ ）
- 「行わない」or「紹介先医療機関に依頼する」を選択した場合、理由を教えてください。
- （理由： _____ ）
- F. 感染予防のための行動変容を働きかける相談をしていますか？（ している ・ していない ）
- 「している保健所」→ 対象は？（ 全員 ・ 一部 ）、場面は？（ 検査前 ・ 結果説明後 ・ 両方 ）
- 具体的手法は？（ 具体的に： _____ ）
- G. 対応困難者（不安神経症、リスク行動を繰り返す人等）の経験はありますか？（ ある ・ ない ）
- 対応困難者の紹介先はありますか？（ ある ・ ない ）
- 「ある」と答えた保健所 →（紹介先全てに○： 医療機関（診療科 _____ ）・ NGO ・ その他 _____ ）
- H. H25 年 1～12 月に妊婦さんからの相談事例はありましたか？（ ある（ _____ 件） ・ ない ）
- I. H25 年 1～12 月に妊婦さんの検査受検はありましたか？（ ある（ _____ 件） ・ ない ）
- J. 未成年の検査希望者への対応はどのようにしていますか？
- （ 通常通り行う ・ 受け付けない ・ 特別な配慮をする →（具体的に： _____ ） ）
- ⑥ HIV 検査結果の連絡・受け渡しについて教えてください。
- H25 年 1～12 月に HIV/性感染症検査（無料・匿名）に関して誤った結果を通知したことはありましたか？
- （ あった →（ HIV について ・ 性感染症について _____ ） ・ なかった _____ ）
- ⑦ HIV 検査相談事業を運営する上で、問題点や課題等がありましたら、余白または別紙にご記入下さい。

ご協力ありがとうございました。

平成 26 年 1 月 6 日

各 保 健 所 長 様

厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業
HIV 検査相談の充実と利用機会の促進に関する研究班
(研究代表者 加藤真吾)
研究分担者 今井光信 (田園調布学園大学 教授)

HIV 検査に関するアンケートのお願い (依頼)

厚生労働省の研究事業につきましては、日ごろ格別のご協力を頂き厚くお礼申し上げます。

昨年度、全国保健所長会のご協力を得て行った、「保健所における HIV 検査体制に関する全国調査」の際には、大変お忙しい中にも関わらず、ご協力を頂き誠にありがとうございました。アンケート調査結果につきましては、全国保健所長会のサイト【トップページ右中段“Key Word”：HIV 関連→平成 24 年度「HIV 検査相談に関する全国保健所アンケート調査の結果」(http://www.phcd.jp/02/kenkyu/kouseiroudou/pdf/hiv_tmp01_H24.pdf)】に掲載させて頂きましたのでご一読いただければ幸いです。

また、本年度も継続してアンケート調査を行うことになりました。本調査は保健所における HIV 検査・相談 (HIV 検査と同時にを行う性感染症検査を含む) および結果通知の体制を把握し、今後の HIV 検査・相談の更なる向上の参考とするために実施しております。年度末で大変お忙しいところ恐縮ですが、本調査へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

別紙のアンケート用紙にご回答の上、平成 26 年 1 月 24 日 (金)までに、返信用封筒にてご返信いただくようお願い申し上げます。また、一つの保健所で複数の HIV 検査相談施設 (保健所支所、保健センター等) を管轄している場合には、大変申し訳ありませんが、アンケート用紙をコピーの上、各施設単位でアンケートのご回答をしていただけますようお願い致します。

記

- 1 調査目的 保健所における HIV 検査 (HIV 検査と同時にを行う性感染症検査を含む) の検査体制および結果通知に関する体制の現状を調査する。
- 2 調査票回答者 保健所長 あるいは HIV 検査相談事業担当者
- 3 調査票回答期限 平成 26 年 1 月 24 日 (金)
- 4 調査票回答方法
返信用封筒による郵送
宛先 〒215-8542 川崎市麻生区東百合ヶ丘 3-4-1
田園調布学園大学 人間福祉学部 教授 今井光信
(締め切り期日が迫っている場合、下記のメールアドレス経由でご回答頂いても結構ですが、その場合も返信用封筒による郵送での回答も必ずお願い致します。)
(宛先) Email: kensahan@m10.alpha-net.ne.jp

(本調査に関する問い合わせ先)
下記メールにより今井光信宛にお願い致します。
Email: kensahan@m10.alpha-net.ne.jp

特設 HIV 検査施設における HIV 検査体制に関する調査

* アンケートの集計結果は毎年、研究班の報告書としてまとめ報告するとともに、学会・学会誌等に発表します。原則として発表データは集計結果のみを使用し、個別の保健所が分かる形では、特別に許可を得た場合を除き公表することはありません。

検査施設名:

連絡担当者名: 職種: 医師・保健師・事務・その他()

連絡先: TEL FAX E-mail

1. 貴施設ではいつから HIV 検査を行っていますか? (年 から)

平成 25 年 1~12 月の実施状況をお教え下さい。

① HIV 検査件数: 検査数 件 スクリーニング検査で陽性 件 確認検査陽性 件

② HIV 検査の結果を聞きにこなかった受検者数: 件

③ ②の中で、HIV 検査が陽性で結果を聞きにこなかった数: 件

④ 陽性者が医療機関を受診したかどうか分かる仕組みがありますか? (ある ・ ない)

「ある」と答えた施設 → 具体的に教えて下さい()

⑤ 医療機関を受診したことを把握できている陽性者数: 件

⑥ 確認検査陽性中、感染症発生動向調査の届出を行った HIV 感染者数 件

2. 貴施設で行っている HIV 検査事業の内容について教えて下さい。

① HIV 検査相談を行っている曜日と時間をご記入下さい。

(例) (通常・即日) (定期・イベント) 検査: (火 曜日・月) 年 4 回 受付時間: 13 : 00 ~ 15 : 00

(通常・即日) (定期・イベント) 検査: 曜日 / (月・年) 回 受付時間: : ~ :

(通常・即日) (定期・イベント) 検査: 曜日 / (月・年) 回 受付時間: : ~ :

(通常・即日) (定期・イベント) 検査: 曜日 / (月・年) 回 受付時間: : ~ :

② HIV 検査事業の中で HIV 検査と一緒に HIV 以外の性感染症検査を行っていますか?

(行っていない ・ 行っている → (毎回 ・ イベント (年 回))

「行っている」と答えた保健所 → 一緒に実施している性感染症検査項目に○をしてください。

(梅毒 ・ クラミジア抗体 ・ クラミジア抗原 ・ 淋菌 ・ B 型肝炎 ・ C 型肝炎 ・ その他)

ア. 通常検査を行っている場合

A. 予約制ですか? (はい ・ いいえ)

B. 1回あたり上限数がありますか? (はい → () 人 ・ いいえ)

C. 検査前に説明や相談(プレカウンセリング)を行っていますか? (はい ・ いいえ)

D. 結果返しは? (1 週間後 ・ 2 週間後 ・ 日後以降)

E. スクリーニング検査実施施設は?

(自施設 ・ 他施設 (機関名:))

F. スクリーニング検査の方法は?

(PA 法 ・ IC 法(ダイナスクリーン、エスプライン) ・ EIA 法) ・ その他())

G. 確認検査の実施施設は?

(自施設 ・ 他施設 (機関名:))

H. 検査陽性時の結果通知と確認検査検体について当てはまるものに○を付けてください。

a. 受検者にはスクリーニング検査の陽性結果を通知し、確認検査用に再採血し、確認検査を実施する。

b. スクリーニング検査の残検体で確認検査まで実施し、受検者には確認検査結果を通知する。

(採血は? → スクリーニング検査用 1 本のみ ・ スクリーニング検査用と確認検査用で 2 本)

c. その他()

イ. 即日検査を行っている場合

A. 予約制ですか? (はい ・ いいえ)

B. 1回あたり上限数がありますか? (はい () 人 ・ いいえ)

C. 検査前に説明や相談(プレカウンセリング)を行っていますか? (はい ・ いいえ)

→ 裏面へつづく

D. 迅速検査で陽性となった場合の確認検査の結果返しは？（ 1 週間後 ・ 2 週間後 ・ ____ 日後以降 ）

E. 迅速診断キットの検査実施は？

a. 自施設職員 （ 検査担当職員 ・ 医師 ・ 保健師 ・ その他 _____ ）

b. 臨時雇用 （ 検査担当職員 ・ 医師 ・ 保健師 ・ その他 _____ ）

c. 外部委託 （機関名 _____ ）

F. 確認検査の実施施設は？

（ 自施設 ・ 他施設 （機関名： _____ ） ）

G. 確認検査用の検体は？

（ 迅速検査の残血液 ・ 確認検査用に再採血 → （ 迅速検査用と同時 ・ 結果通知後 ） ）

③ 確認検査の方法を教えてください（ア. 通常検査を行っている場合、イ. 即日検査を行っている場合共通）。

（ WB 法のみ ・ 2 次スクリーニング検査+WB 法 ・ WB 法+NAT 法

・ 2 次スクリーニング検査+WB 法+NAT 法 ・ その他 _____ ）

④ 受検者について把握している内容に○を付けて下さい（複数回答可）。

（ 性別 ・ 年齢 ・ 年代 ・ 居住地域 ・ 受検の動機 ・ 感染リスク ・ 性的指向
・ 感染機会の時期 ・ 今回の検査の情報源 ・ その他 _____ ）

→ 集計結果を事業の改善見直しや予算要求等に活用していますか？（ している ・ していない ）

⑤ 結果説明・相談等について教えてください。H24 年 4 月に体制等が変わった場合は変更後をご記入下さい。

A. 結果説明時の 1 事業実施回当たりの担当者は？

* 該当箇所の□にレ点を付け、合計人数を記入、担当職種に○を付け、職種別の人数をご記入下さい。

□「陰性結果通知」→（ 人：医師（人）・保健師（人）・看護師（人）・その他（人））

□「迅速検査陽性通知」→（ 人：医師（人）・保健師（人）・看護師（人）・その他（人））

□「確認検査陰性通知」→（ 人：医師（人）・保健師（人）・看護師（人）・その他（人））

□「確認検査陽性通知」→（ 人：医師（人）・保健師（人）・看護師（人）・その他（人））

□「迅速検査陽性」時の説明体制（例：、医師が結果を説明し、保健師が相談先などを説明）

具体的には？（ _____ ）、手渡し資料は？（ ある ・ ない ）

□「確認検査陽性」時の説明体制（例：医師が結果と医学的説明、保健師が他の説明、臨床心理士が相談）

具体的には？（ _____ ）

B. 陽性者への説明事項に関するマニュアルがありますか？（ ある ・ ない ）

C. 陽性者への説明資料はありますか？（ ある（具体的に： _____ ） ・ ない ）

D. 陽性者に手渡す資料はありますか？（ ある（具体的に： _____ ） ・ ない ）

E. 確認検査で陽性の場合には感染症発生動向調査の届出を行いますか？

（ 必ず行う ・ ほぼ行う ・ 行わない ・ 紹介先医療機関に依頼する ）

→「行わない」or「紹介先医療機関に依頼する」を選択した場合、理由を教えてください。

（理由： _____ ）

F. 感染予防のための行動変容を働きかける相談をしていますか？（ している ・ していない ）

「している施設」→ 対象は？（ 全員 ・ 一部 ）、場面は？（ 検査前 ・ 結果説明後 ・ 両方 ）

具体的手法は？（ 具体的に： _____ ）

G. 対応困難者（不安神経症、リスク行動を繰り返す人等）の経験はありますか？（ ある ・ ない ）

対応困難者の紹介先はありますか？（ ある ・ ない ）

「ある」と答えた施設 →（紹介先全てに○：医療機関（診療科 _____ ）・NGO ・その他 _____ ）

H. H25 年 1～12 月に妊婦さんからの相談事例はありましたか？（ ある（件） ・ ない ）

I. H25 年 1～12 月に妊婦さんの検査受検はありましたか？（ ある（件） ・ ない ）

J. 未成年の検査希望者への対応はどのようにしていますか？

（ 通常通り行う ・ 受け付けない ・ 特別な配慮をする →（具体的に： _____ ） ）

⑥ HIV 検査結果の連絡・受け渡しについて教えてください。

H25 年 1～12 月に HIV/性感染症検査（無料・匿名）に関して誤った結果を通知したことはありましたか？

（ あった →（ HIV について ・ 性感染症について ） ・ なかった ）

⑦ HIV 検査相談事業を運営する上で、問題点や課題等がありましたら、余白または別紙にご記入下さい。

ご協力ありがとうございました。

平成26年 1月 6日

関係者の皆様

厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業
HIV 検査相談の充実と利用機会の促進に関する研究班
(研究代表者 加藤真吾)
研究分担者 今井光信 (田園調布学園大学 教授)

HIV 検査に関するアンケートのお願い(依頼)

厚生労働省の研究事業につきましては、日ごろ格別のご協力を頂き厚くお礼申し上げます。
厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV 検査相談の充実と利用機会の促進に関する研究班」では、現在、保健所に対し、全国保健所長会のご協力を得て、「保健所における HIV 検査体制に関する全国調査」を昨年に引き続き実施しているところであります。

つきましては、保健所以外の特設の HIV 検査相談施設に関しましても、保健所へのアンケート調査に準じたアンケート調査を本年も実施させていただきたく、大変お忙しいところ恐縮ですが、本調査にご協力の程よろしくお願い致します。

なお、別紙のアンケート用紙を平成26年 1月24日(金)までに、同封の返信用封筒にてご返信いただけますようよろしくお願い申し上げます。

記

- 1 調査目的 特設 HIV 検査相談施設における HIV 検査 (HIV 検査と同時に行う性感染症検査を含む) の検査体制および結果通知に関する体制の現状を調査する。
- 2 調査票回答者 特設 HIV 検査相談施設の責任者 あるいは
委託元 HIV 検査相談事業の責任者または担当者
- 3 調査票回答期限 平成26年 1月24日(金)
- 4 調査票回答方法
返信用封筒による郵送
宛先 〒215-8542 川崎市麻生区東百合ヶ丘 3-4-1
田園調布学園大学 人間福祉学部 教授 今井光信
(締め切り期日が迫っている場合、下記のメールアドレス経由でご回答頂いても結構ですが、その場合も返信用封筒による郵送での回答も必ずお願い致します。)
(宛先) Email: kensahan@m10.alpha-net.ne.jp

(本調査に関する問い合わせ先)
下記メールにより今井光信宛にお願い致します。
Email: kensahan@m10.alpha-net.ne.jp

保健所における HIV 検査体制に関する全国調査

妊婦 HIV 検査相談に関する設問への回答(H24 年度)に対する 2 次調査の結果

【目的】

保健所において HIV 検査相談を受けた妊婦について、どのような理由と経緯で保健所の相談・検査を受けるに至ったかを調査することにより、保健所における妊婦に対する HIV 検査相談の意義を明らかにするとともに、産婦人科医療機関における HIV 検査対応のあり方を検討する際の参考資料とする。

＊本調査は厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV 検査相談の充実と利用機会の促進に関する研究」および厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事「HIV 母子感染の疫学調査と予防対策および女性・小児感染者支援に関する研究」の共同研究として実施した。

【方法】

平成 24 年度「保健所における HIV 検査体制に関する全国調査」のアンケート調査に回答した保健所 481 施設のうち、設問 2. ④「H. 昨年 1 年間に妊婦さんからの相談事例はありましたか？」あるいは「I. 昨年 1 年間に妊婦さんの検査受検はありましたか？」に「ある」と回答した保健所 53 箇所に対して調査票を送り、妊婦が保健所で HIV の相談・検査を受けた理由と経緯について調査した。

(アンケート回答数)

H. 昨年 1 年間に妊婦さんからの相談事例はありましたか？	「あり」の回答保健所数	40 箇所
I. 昨年 1 年間に妊婦さんの検査受検はありましたか？	「あり」の回答保健所数	39 箇所

＜調査票送付保健所数＞

相談のみ	14 箇所
検査のみ	13 箇所
相談・検査 重複回答	26 箇所
合計	53 箇所

【結果】

調査票を送付した保健所 53 箇所のうち 34 箇所(64%)から回答があった。相談のみ事例が 12 例、検査のみ事例が 8 例、相談＋検査事例が 14 例であった。保健所で検査相談を受けた理由としては、他の感染症に感染しているためも含め、HIV 感染に対する心配によるものがその多くを占めていたが、医療機関で保健所の検査を受けるよう勧められた例も見られた (表 1、2、3)。

＜回答事例数＞

相談のみ	12 例
検査のみ	8 例
相談・検査事例	14 例
合計	34 例

【まとめ】

妊婦は産科医療機関において HIV 検査を受ける機会があるが、HIV の感染不安から保健所での検査・相談を希望する例が少なからずあることが分かった。保健所は妊婦の場合においても、時に、その感染不安に対応するための HIV 検査相談検査機関として重要な役割を果たしていることがわかった。また、産科医療機関において、HIV スクリーニング検査やスクリーニング検査陽性後の確認検査を保健所で受けるよう妊婦に勧める事例が現在でも少数ながら存在していることも分かった。妊婦における HIV 感染の状況や HIV 感染不安への対応については今後とも注視していく必要があると思われる。